

一人一人のよさを 未来へつなぐ

— 学校教育のはじまりとしての幼稚園教育 —



文部科学省

生きる力の基礎

遊びは幼児期にふさわしい学びです。
遊びを通してどのような力を身に付けていくのでしょうか？



野菜を育てて収穫する



砂場で遊ぶ

幼稚園
学校教育の
はじまり



幼児は幼稚園での新しい生活に期待や不安をいんでいます。幼児が安心してすごせるよう、教師は一人一人にあたたく接しています。

幼稚園
入園



みんなで絵本をみる

そして小学校
さらに
中学・高校へ

小学校
入学



幼稚園での遊びを通して豊かな心と体を育み、
学ぶ楽しさを知ります。
また、幼稚園での体験により教科学習の内容
等を実感をもって理解できます。

品物をつくってお店屋さんごっこをする

幼稚園から高校の学校教育を通して育む力

学校教育全体



幼稚園ではその基礎を育成

- **知識及び技能の基礎**
豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。
- **思考力、判断力、表現力などの基礎**
気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
- **学びに向かう力、人間性など**
心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

※遊びを通して三つの力を一体的に育みます。

幼稚園での生活を通して

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- **健康な心と体**…自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
- **自立心**…自分の力でやり遂げる体験などを通じて自信をもって行動するようになる。
- **協同性**…友達と一緒に目的の実現に向けて考えたり協力したりするようになる。
- **道徳性・規範意識の芽生え**…よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになる。きまりを守ったりするようになる。
- **社会生活との関わり**…家族を大切にしたり、身近な人と触れ合って地域に親しみをもつようになる。遊びや生活に必要な情報を役立てて活動したり、公共施設を利用して、社会とのつながりを意識するようになる。
- **思考力の芽生え**…身近な事象から物の性質などを感じ取ったり、予想したりして、多様な関わりを楽しむようになる。
- **自然との関わり・生命尊重**…自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。生命の不思議さなどに気付き、動植物を大切にするようになる。
- **数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚**…遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しんだりして、興味や関心、感覚をもつようになる。
- **言葉による伝え合い**…経験したことなどを言葉で伝えたり、話を聞いたりして、伝え合いを楽しむようになる。
- **豊かな感性と表現**…心動かす出来事に触れ、感じたことを表現して、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

※これらは到達目標ではなく、一人一人の発達に応じて育っていきます。

また、それぞれの姿の一部のみを記載していますので、詳しくは以下をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/index.htm



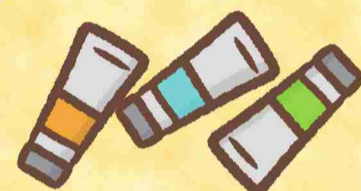
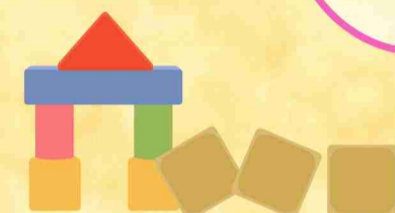
小学校以降の生活や学習の基盤を育成 ～子供の発達や学びをつなぐ～

遊びは幼児期にふさわしい学び

幼児期は、知識を教えられて身に付けていく時期ではありません。遊びを中心として、頭も心も体も動かして、主体的に、様々な対象と直接かかわりながら、総合的に学んでいきます。

遊びを通して思考を巡らし、想像力を発揮し、自分の体を使って、また、友達と共有したり、協力したりして、様々なことを学んでいきます。幼稚園での遊びを通して豊かな心と体を育み、学ぶ楽しさを知ります。

どんな学びがあるのかな？



例

- 道具の使い方をしる
- 素材のよさを生かしてつくる
- 友達と思いついたことをだしあう
- やりとげたことをよろこぶ

例

- 思い浮かべた色をつくる
- 色の変化を楽しむ
- 色の違いに気付く
- 友達と一緒に感じあう

小学校でのスタートカリキュラム

幼児期の遊びを通じた学びが、各教科等の学習につながるよう、生活科を中心とした「スタートカリキュラム」を充実しています。入学当初は、幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を織り交ぜていきます。そうして、子供はより自覚的な学びへと向かっていきます。つまり、学ぶことの意識があり、集中する時間とそうでない時間の区別がつき、自分の課題の解決に、計画的に学んでいくようになります。

●スタートカリキュラムの活動例

リズムで楽しく遊ぼう



「あひるのあくびはあ・い・う・え・お」
音読にも動きを付けて、体全体で伸び伸び表現します。

アサガオを育てよう



友達とかわかることで、気づきが生まれます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を幼稚園と小学校で共有

幼児の学びの質を支える教師



遊びの計画と教材などの準備

教師は、幼児が遊びから学んでいくにはどうしたらよいか話し合って遊びの計画（指導計画）を作成します。また、遊びを通した学びは人やものなど周りの環境が大切なので、教師は、幼児が遊びから何を学ぶかを予想し、思わずかわりたくなるように準備していきます。

指導計画（お茶会、4歳児）	
項目	内容
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> お茶会を通して友達と一緒に遊ぶ楽しさや楽しさを味わう。 お茶会を通して友達と協力して遊ぶ楽しさを味わう。 お茶会を通して友達と協力して遊ぶ楽しさを味わう。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> お茶会を通して友達と一緒に遊ぶ楽しさや楽しさを味わう。 お茶会を通して友達と協力して遊ぶ楽しさを味わう。 お茶会を通して友達と協力して遊ぶ楽しさを味わう。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> お茶会を通して友達と一緒に遊ぶ楽しさや楽しさを味わう。 お茶会を通して友達と協力して遊ぶ楽しさを味わう。 お茶会を通して友達と協力して遊ぶ楽しさを味わう。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> お茶会を通して友達と一緒に遊ぶ楽しさや楽しさを味わう。 お茶会を通して友達と協力して遊ぶ楽しさを味わう。 お茶会を通して友達と協力して遊ぶ楽しさを味わう。

先生は小学校と同じ教師

幼稚園の先生は、小学校の先生と同様、教師となるために必要な講義や教育実習などを経て、教員免許を取得しています。そして、研修などを通して、教師としての力量を一層高めていきます。



遊びの中での教師のかかわり

教師は一人一人の幼児を理解し、一緒に遊びながら幼児の興味が広がったり深まったりしてさらに楽しめるようにします。教師がすぐに手助けすると自分で工夫したり、友達と助け合ったりする機会が少なくなることもあるため、教師はすべてを手伝うのか、ヒントを与えるのか、自分たちで解決できるまで見守るのかなどを考えてかかわります。

遊びの計画は、 教育目標・カリキュラムに基づいて

・教育目標とカリキュラム（教育課程）

国が示す法令や幼稚園教育要領に基づいて、各幼稚園の特性に応じた教育目標を作成し、幼児の充実した生活を展開できるような計画を示すカリキュラム（教育課程）を編成しています。

・カリキュラム・マネジメント

教育の効果を常に検証して改善し、さらに、地域と連携してよりよい学校教育を目指しています。また、全教職員の協力体制の下、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っています。

「幼稚園教育要領」とは、全国どこの幼稚園でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めているもので、幼稚園の活動内容のもとになるものです。

預かり保育

幼稚園によって、実施日や時間などは様々ですが、さよならのあいさつの後も幼児を預かっています。



子育ての支援

子育て相談、未就園児の親子登園、保護者同士の交流、園庭・園舎の開放、公開講座の開催などをしています。



これからの幼児期の教育

●幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料無償化（令和元年10月～）

無償化の期間は、満3歳になった後の4月1日から小学校就学前までの3年間です。幼稚園については、入園できる時期に合わせて、満3歳から無償化します。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/musyouka/index.html>

●認定こども園 ～教育・保育を一体的に行う施設～

認定こども園とは、教育・保育を一体的に行う施設であり、保護者が働いている・いないにかかわらず利用可能です。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/kodomoen/index.html>

お問い合わせ先

文部科学省初等中等教育局幼児教育課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL 03-5253-4111(代表) E-mail youji-shidou@mext.go.jp

文部科学省ホームページに幼稚園に関する情報が掲載されていますのでご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/index.htm

このパンフレットのコピーは自由です。広く関係者へお配りください。



コピーOK

利用の際は必ず下記サイトを参照下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo



古紙配合率70%再生紙を使用しています